

3学期もあと1か月！

本日から3月が始まります。1～2月は、あっという間に過ぎ去っていきました。学校では、今週、1年生を学級閉鎖にしました。33名中、17名の欠席というびっくりする状況で、朝の段階では、はっきりしていませんでしたが、保護者の方の御協力と病院を受診していただき、結果的に12名がインフルエンザになったことが分かりました。他の学年では、学級で1～2名の発症ですので、1年生だけ多かったことが分かります。ここ数年、マスクで生活をするのが多かったため、大人も子供も免疫が低下しているのではないかと報告もあります。保護者の皆様も含め、十分お気を付けください。いずれにしても、6年生にとっては、あと13日、1～5年生も、あと16日で、それぞれの学年が終了します。最後まで、1日1日を大切に、心身ともに健康で、学年のまとめなどに取り組みますので、御家庭でも子供たちへの励ましのお声掛けをよろしくお願いいたします。

学校給食について

今週、福岡県の小学校1年生が、うずらの卵をのどに詰まらせて死亡するという大変悲しい事故がありました。今後、何が原因かしっかりと検証をされると思います。そもそも、このような事故は、これまでも発生しています。学校だけでなく、家庭でも起きる可能性があります。他人ごとではなく、学校でも家庭でも十分気を付ける必要があります。海田西小学校では、事故のあった翌日、昼食時に給食を食べるときには、しっかりとよく噛んで、ゆっくりと食べるように栄養士から放送をさせていただき、毎日の児童による給食の放送の中にも、「よく噛んで食べましょう」と、放送をしています。3月の給食でも、うずらの卵は、食材に入っています。この日は、特に、昼食時に放送で、注意喚起をさせ、各学級では、食べる際に、卵を箸で割ってから食べるなどの工夫を行います。また、本日(3/1)、全職員で、喉に物を詰まらせた場合の対処法、「ハイムリック法」などの研修を実施します。職員1人1人が、緊急時に対応できるよう体得していくことが必要だと考えました。3月の「うずらの卵」の提供の中止も検討しましたが、うずらの卵のほかにも、ミニトマトや、サトイモ、こんにゃく、白玉団子など、喉に詰まりやすい食材は、たくさんあります。すべての食材をストップさせることは、現実的ではありませんので、しっかりと食べ方の指導をしながら、気を付けて食べることにしました。とにかく、「ゆっくり」と「よく噛んで」食べる習慣をつけさせたいものです。ぜひ、各家庭でも食事の際には、「ゆっくり」と「よく噛んで」食べるようにお声掛けをよろしくお願いいたします。

ニュース5・7・5

今回も36句の投稿がありました。ありがとうございます。これからも、学年末や卒業、日常生活の句を、たくさんお待ちしております！！

○ ヒアシンス ぐんぐんそだつ 春となり

2年 わたなべ ふう
渡邊 楓

- インフルエンザ 早くなおれよ コンコンコン 3年 むかい
向井 ほのり
歩里
- うめの花 さいたら二月 春が来た 3年 アラカキ パウロ
- 春になり サクラがさくぞ 楽しみだ 4年 なかしま
中島 ここな
心奈

校長の真面目な子育て日記④1

最初に、愚痴から入ります。私が発行するこの「今日のふむふむ」は、私が、教員時代に発行していた学級だよりの題名です。教員時代20年間で、一番発行枚数の多かったときは、年間365号まで出しました。お休みもありますので、1日に2号発行する日も多かったです。その他の年は、平均で年間150号くらいを出していました。内容は、学校での出来事や取組、表彰、児童の日記や保護者の感想など、様々でした。今は、先生方も、仕事の内容が複雑になり、多くの業務を抱えていますので、とてもそんな時間は無くなっています。その中でも、校長だよりは、令和3年度：27号、令和4年度：21号と発行してきましたが、本年度は、この号で9号です。少なすぎますね。別に、楽しみにしていただいていた方は、いなかったかもしれませんが、私としては、本年度は、保護者の皆様へのお伝えが不足していたなと反省しています。理由は、いろいろとありますが、すべて言い訳になりますので、省きます。今月は、できるだけ時間を作って、私の考えていることを皆様方にお伝えしていきたいと考えています。「それは違うよ」「自分には合わない」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、まずは、お読みいただき、少しでも参考にしていただければ幸いです。さて、コロナ禍が過ぎ去り、保護者の皆様には、参観日等で、学校に来ていただけることが多くなってまいりましたが、まだまだ学校（担任）と保護者の皆様の結びつきが、薄いと感じています。また、保護者同士の結びつきも希薄になっているように感じますが、保護者の皆様はいかがお感じでしょうか。先日、6年生のPTC活動で多くの保護者の中に、お父さんの姿が4名くらい見受けられました。参観日でも、御夫婦で来られる方も大変多くなってきています。子育てを、男女関係なく、参加されることは素晴らしいことですね。そこで、お父さん同士でも人間関係が深まり、子供のことを話せる間柄になれるといいなと思っています。子供に何かあって、学校と保護者の双方が考えているとき、学校で先生が指導している内容と、家庭で保護者が話している内容が違っては、子供は、どちらの言うことが正しいのか不安になります。子供さんのことで、些細なことでも、ぜひ学校に御相談いただき、学校でも家庭でも同じスタンスで子供を育てていきたいです。各担任にも、保護者から何か相談があったら、すぐに校長に伝えるようにと話しています。学校内でも話題の共有は大変大切です。これは、御家族の中でも同じことが言えます。しっかりと話し合うことが必要ですね。例えば、「習い事」や「塾」に通わせるときも、家庭内で意見が一致しないこともあります。父母、祖父母が言っていることがバラバラでは、せっかく通っているものも十分な力になりません。私が高学年を担当しているとき、「先生、うちの子は、塾に通っているのに、全然成績が上がらないのですが、何が原因でしょうか？」と聞かれることがちょくちょくありました。多くの場合、そのお子さんは、学校や家庭での勉強への集中力が欠けていたり、目的意識がしっかりと持っていないかったりすることが多かったです。我が家のツンデレ娘は、今週2日間、3学期の考査でした。机に座っている時間は、結構ありましたが、集中力や計画性がないため、全然成績が上がリません。少しでも向上するために何をすればよいのでしょうか？（続く）